

第1回 意見聴取について

【住民の皆さまへの意見聴取】

○調査概要

住民の皆様への意見聴取は、オープンハウスによるアンケート調査とし、平成30年2月2日～2月19日に実施しました。実施箇所は、播磨臨海地域にある主要駅や自治体の市役所・町役場、国道2号バイパス等のサービスエリア・パーキングエリアとしました。

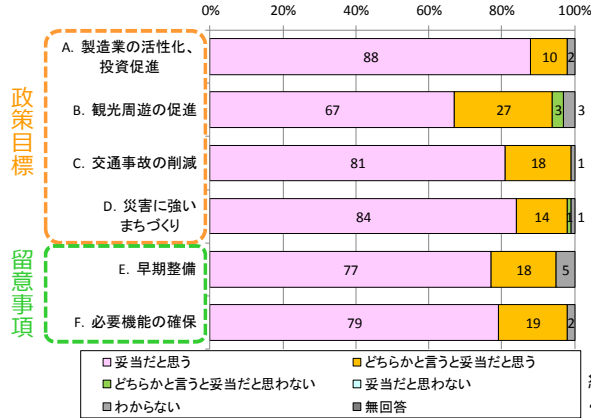
開催箇所	開催日時*	回答数
明石SA（上・下）	H30.2. 4(日), 5(月)	632
別所PA（上・下）	H30.2.18(日),19(月)	570
JR姫路駅	H30.2.12(月),13(火)	362
JR加古川駅	H30.2.16(金),17(土)	232
JR土山駅	H30.2. 2(金), 3(土)	190
山陽飾磨駅	H30.2.12(月),13(火)	187
山陽広畑駅	H30.2.16(金),17(土)	221
山陽白浜の宮駅	H30.2.16(金),17(土)	580

開催箇所	開催日時*	回答数
山陽大塩駅	H30.2.18(日),19(月)	258
山陽荒井駅	H30.2. 4(日), 5(月)	72
山陽別府駅	H30.2. 9(金),10(土)	155
姫路市役所	H30.2.14(水),15(木)	599
加古川市役所	H30.2.14(水),15(木)	248
高砂市役所	H30.2. 6(火), 7(水)	298
播磨町役場	H30.2. 6(火), 7(水)	217
合計	15箇所（のべ30日）	4,821

※：いずれも10:00～16:00の間で実施

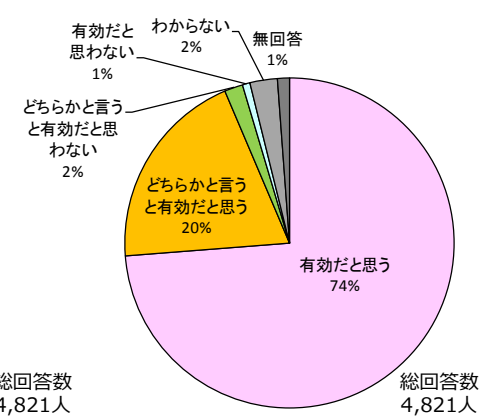
○政策目標、留意事項の妥当性

政策目標、留意事項の妥当性について、住民の皆さまから意見を頂きました。



○播磨臨海地域道路の有効性

播磨臨海地域道路の有効性について住民の皆さまから意見を頂きました。



【事業者の皆さまへの意見聴取】

○調査概要

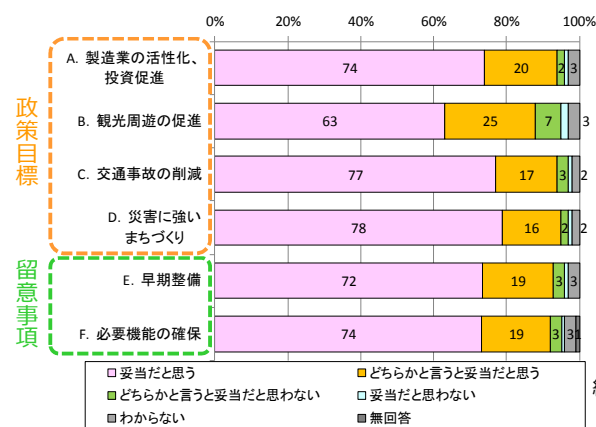
事業者の皆さまへの意見聴取は、ヒアリングによるアンケート調査とし、平成29年12月18日～平成30年2月15日に実施しました。対象者は、商工会・商工会議所や地元自治体の意見を元に抽出した企業・団体、住民代表、関係自治体としました。

対象分類	箇所数
商工会・商工会議所	7箇所
製造業・物流業	42箇所
農業・漁業	12箇所
観光業・バス・タクシー業	8箇所
関係自治体	6箇所
住民代表	10箇所
合計	85箇所*

※：1箇所のヒアリングで複数の対象者から回答を得たケース（関連企業、関連住民代表等）があるため、回答者数としては99者

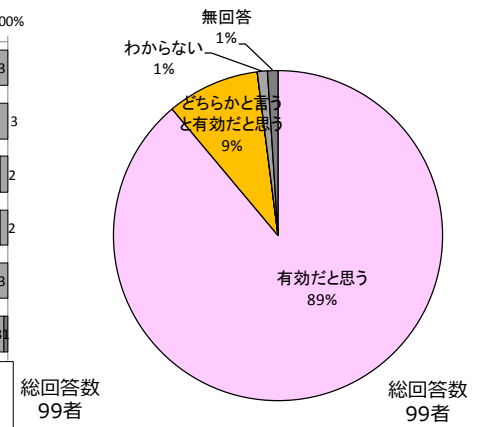
○政策目標、留意事項の妥当性

政策目標、留意事項の妥当性について、事業者の皆さまから意見を頂きました。



○播磨臨海地域道路の有効性

播磨臨海地域道路の有効性について事業者の皆さまから意見を頂きました。

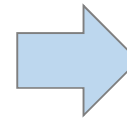


○主な自由意見

- ・周辺の土地利用や住民への影響をよく考慮した上で、早期開通を目指してほしい。
- ・有料道路にして早期整備を進める。
- ・2号バイパスは特に渋滞が酷いため、スピード感のある対応をお願いしたい。
- ・道路整備は、これまでの交通網に加えて、さらに町の活性化が見込まれるものであることが望まれる。
- ・地震や水害等に強い道路を希望する。
- ・臨海地域における、生活車両と生産流通車両との混在が著しい。

まとめ

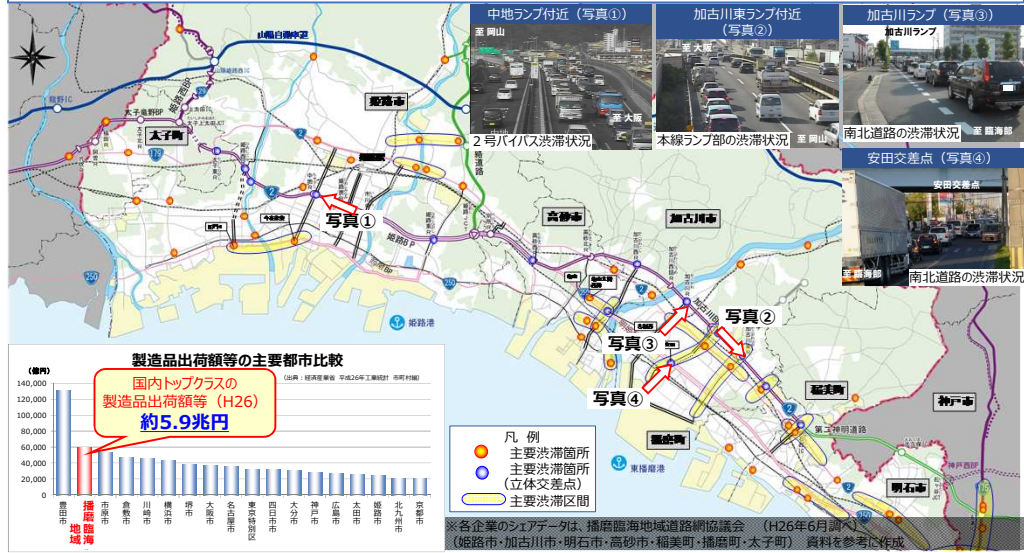
- ・第1回意見聴取で提示した政策目標・留意事項は、地域の課題に対応している。
- ・地域住民、道路利用者、事業者の多くが、播磨臨海地域道路の有効性を感じている。



「播磨地域の政策目標を達成するための機能」を有するルート帯案を検討

課題① 東西幹線道路及び南北アクセス道路の慢性的な渋滞

姫路港や東播磨港が整備され、播磨臨海地域の製造品出荷額等は国内の主要都市よりも多く、企業の製造拠点が集積しています。一方で、物流の幹線となる国道2号バイパスや国道250号といった東西主要幹線と南北方向の臨海部アクセス道路のランプ、立体下交差点で慢性的な渋滞が発生しています。

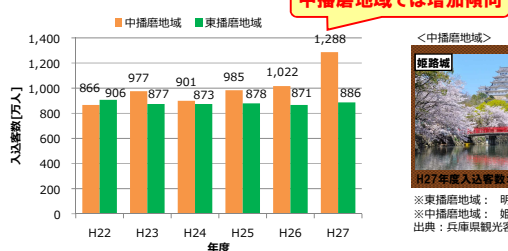


政策目標A：製造業の活性化、投資促進

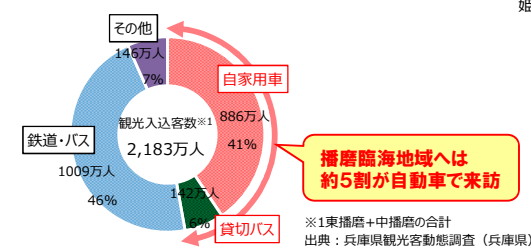
課題② 観光交通と産業交通の混在

播磨臨海地域への観光入込客数は、世界遺産姫路城などを中心とした中播磨地域で増加傾向にあります。姫路城周辺エリアと神戸以東、たつの以西との間で車を利用している人の5割が国道2号バイパスを利用しています。

【観光入込客数の推移】



【観光入込客数の利用交通内訳(H21年度)】

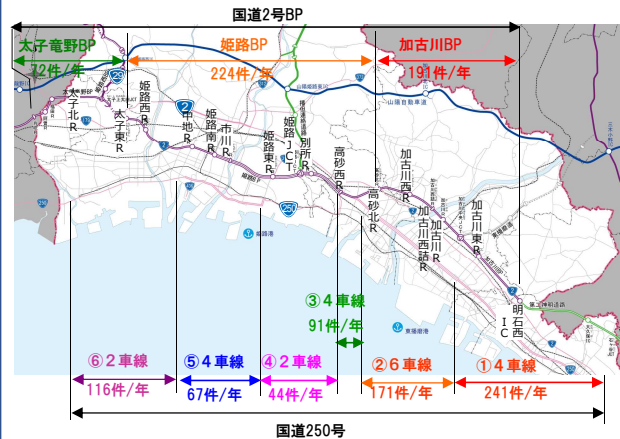


政策目標B：観光周遊の促進

課題③ 交通事故の多発

国道2号バイパス、国道250号ともに年間の死傷事故件数が多い状態にあります。国道2号バイパスの事故では、速度低下が原因の一つと考えられる追突事故が8割以上を占めています。

【国道2号バイパス・国道250号の年平均死傷事故件数】



※死傷事故率：事故危険度の指標の一つ、1kmの区間を1億台の自動車が行ったときに発生する死傷事故件数で表し、その区間内で死傷事故が発生する割合を示す。

政策目標C：交通事故の削減

課題④ 災害に弱い道路ネットワーク

洪水及び南海トラフ巨大地震に伴う津波が発生したときに、一部の主要幹線道路で浸水による通行止めが懸念されています。播磨地域の臨海部には、液状化危険度が極めて高い地域が広く分布しています。

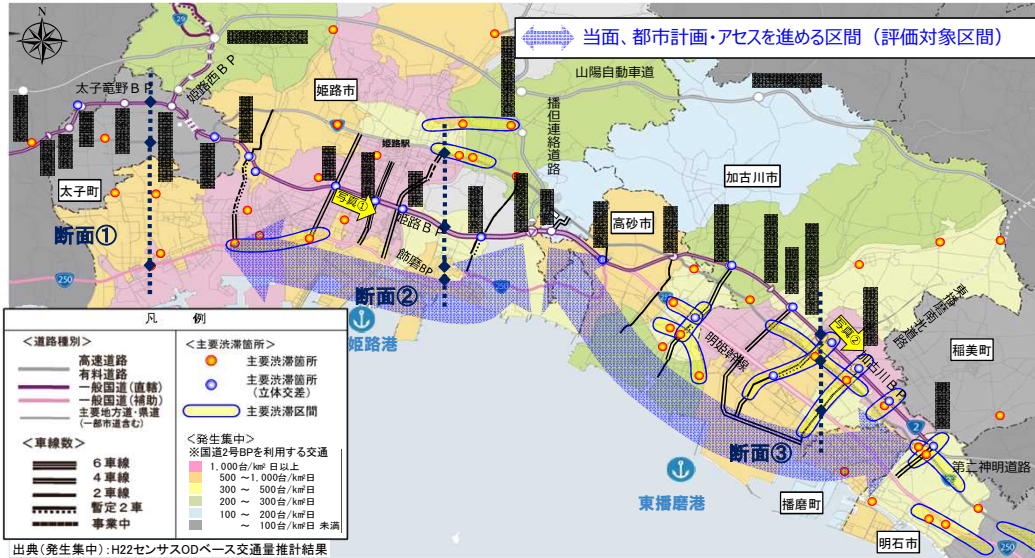


出典 津波浸水想定区域：「南海トラフの巨大地震津波浸水想定図」(H26.2.19 兵庫県)を元作成
出典 洪水浸水想定区域：兵庫県「ゲートマップ」(H25年)を元作成
出典 液状化：兵庫県 兵庫県の地震被害想定 山陽断層帯地震 (大原・土万・安富・主部南東部) 編
PL値(液状化指数)：地盤の液状化の激しさを表す指標。液状化の発生する深さや層厚、非液状化層の厚さが勘案されており、液状化危険度マップの作成にあたって使われることが多い。「液状化対策技術検討会議」検討成果 (H23.8 国土交通省 液状化対策技術検討会議)

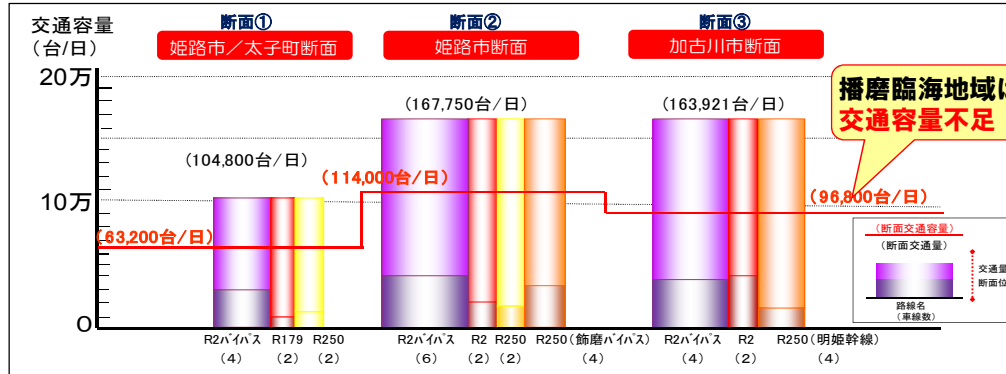
政策目標D：災害に強いまちづくり

早期整備

- 課題の大きさを踏まえた対策
- 民間投資のスピード感への対応



【幹線道路の交通量と交通容量】



出典: H22年度道路交通センサス

※交通容量は、道路構造令における1車線あたりの設計基準交通量を採用 国道2号BP: 第1種第3級(11,000台)

国道2号・国道250号: 第4種第1級 2車線区間(9,600台)、多車線区間(7,200台)

姫路南ランプ付近(写真①)



加古川東ランプ付近(写真②)



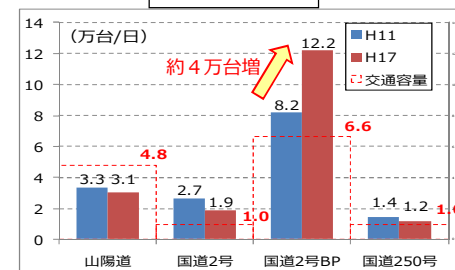
必要機能の確保

- 新しい道路に国道2号BPの渋滞が転換するだけにならない仕組みづくり

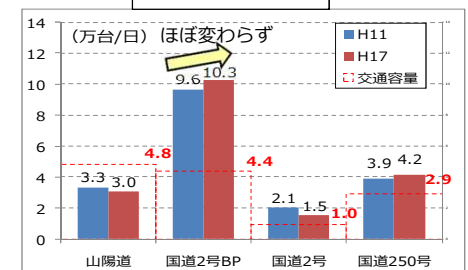
➢ 国道2号BPの姫路BP、太子竜野BPがH12に無料化されたことで、国道2号BPの交通量が増加



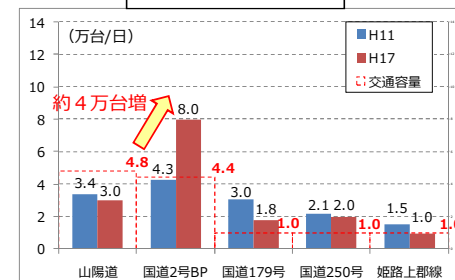
断面②: 姫路BP



断面①: 加古川BP



断面③: 太子竜野BP



国道2号BPの渋滞状況(市川付近)

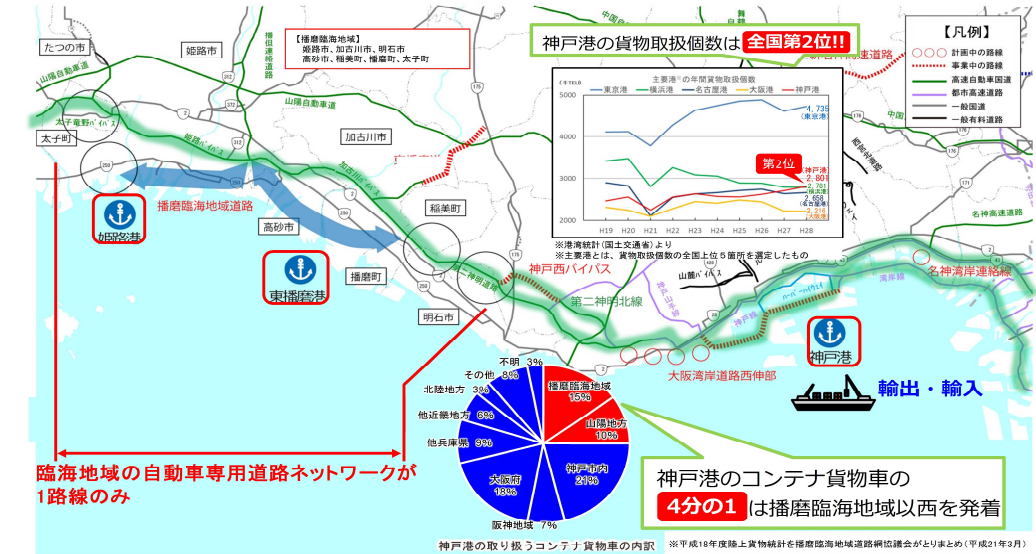


出典: H11年度・H17年度道路交通センサス

※交通容量は、道路構造令における1車線あたりの設計基準交通量を採用

山陽自動車道: 第1種第2級(12,000台)、国道2号BP: 第1種第3級(11,000台) 国道2号・国道250号: 第4種第1級 2車線区間(9,600台)、多車線区間(7,200台)

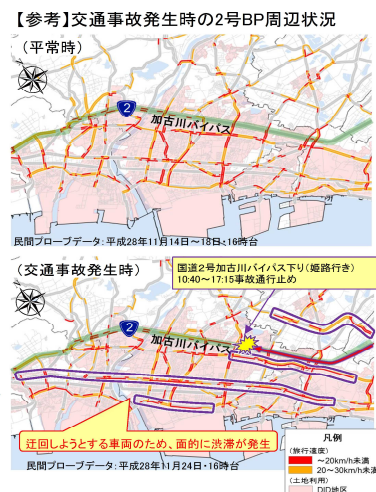
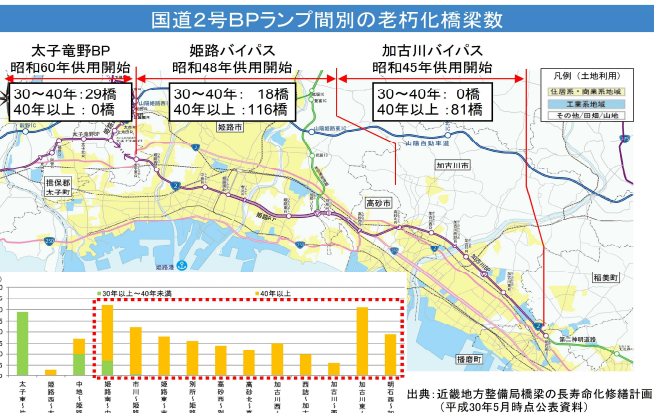
播磨臨海地域と主要な港湾拠点とのアクセス機能（速達性・定時性）の強化



東西方向のサービスレベルの向上（渋滞緩和）



交通規制・通行止めリスクの低減



播磨臨海地域道路に必要な機能

■ 播磨臨海地域道路に必要な道路の機能

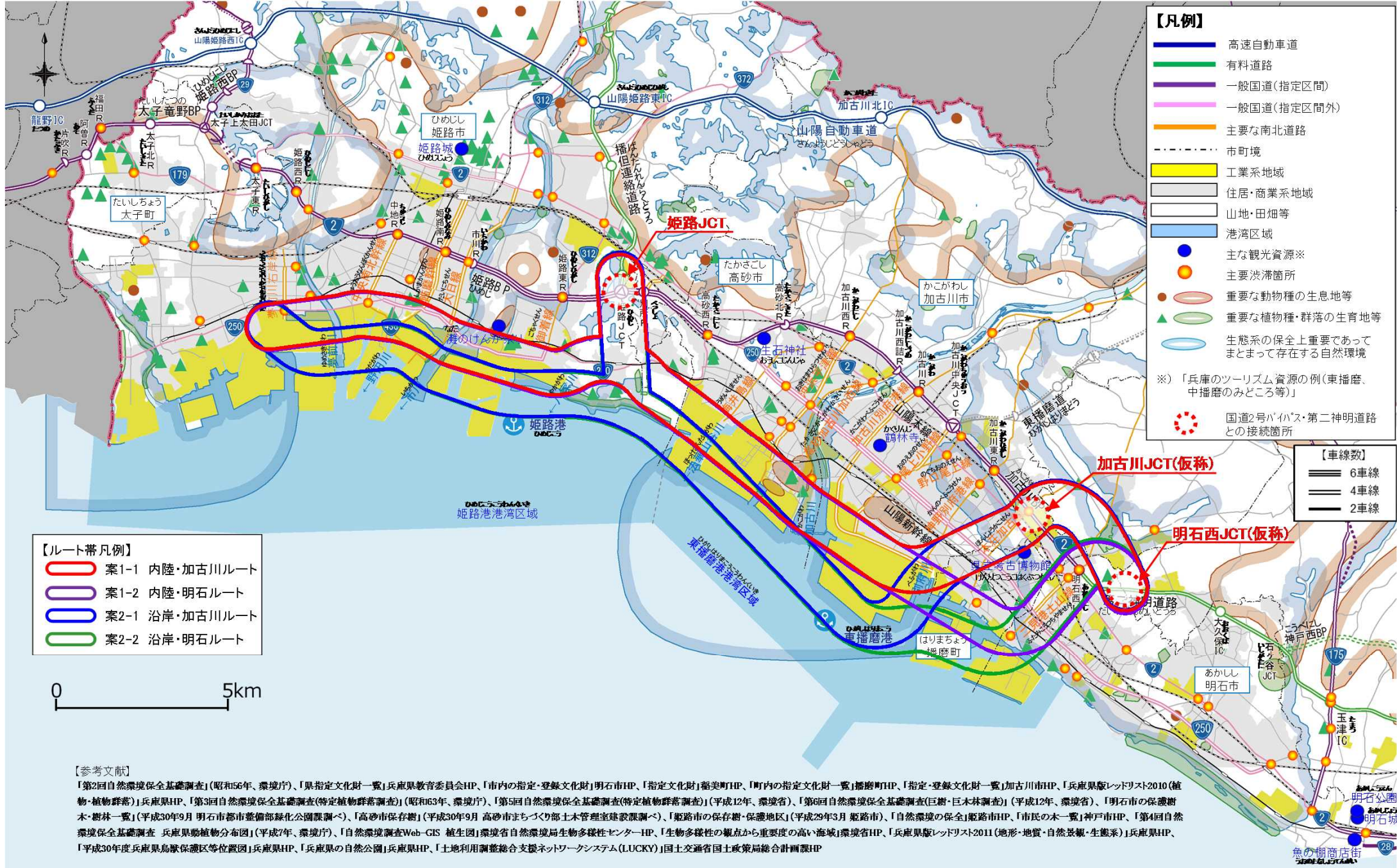
- 播磨臨海地域と主要な港湾拠点とのアクセス機能（速達性・定時性）の強化
 - 播磨臨海地域にも阪神臨海部と同等の産業交通に耐えうる速達性、定時性に優れた自動車専用道路ラダーネットワークが必要
- 東西方向のサービスレベルの向上（渋滞緩和）
 - 東西方向の幹線道路ネットワークの交通バランスを考慮しながら、適切な機能分担を図りつつ、交通容量を拡大するための多車線道路が必要
- 交通規制・通行止めリスクの低減
 - 交通規制・通行止めリスクの低減に資するネットワーク代替性の強化が必要

■ 交通課題を踏まえた整備の方向性

○概略ルート・構造を検討する際の前提条件3つを設定。

- 臨海部産業地域からの良好なアクセスルート
- 自動車専用道路
- 多車線道路(4車線)

播磨臨海地域道路について、政策目標を達成するための機能を有する道路として、検討区間のルート帯案を作成しました。



播磨臨海地域道路のルート帯案 比較表

		内陸ルート		沿岸ルート	
評価軸		案1-1 内陸・加古川ルート	案1-2 内陸・明石ルート	案2-1 沿岸・加古川ルート	案2-2 沿岸・明石ルート
ルート帯の概要		・住居系地域と工業系地域の間を導入空間の基本とする案	・住居系地域と工業系地域の間を導入空間の基本とする案	・企業地内や海上空間を導入空間の基本とする案	・企業地内や海上空間を導入空間の基本とする案
製造業の活性化、投資促進	臨海部からの阪神方面への連絡時間の短縮	・バイパスまでのアクセス性が良く、阪神方面への 連絡時間短縮が期待できる 。	・バイパスまでのアクセス性が良く、阪神方面への 連絡時間短縮が期待できる 。	・バイパスまでのアクセス性に劣るため、阪神方面への 連絡時間短縮は内陸ルートに比べて劣る 。 《内陸ルートより約1.2km ^{*1} 海側を通過》	・バイパスまでのアクセス性に劣るため、阪神方面への 連絡時間短縮は内陸ルートに比べて劣る 。 《内陸ルートより約1.2km ^{*1} 海側を通過》
	南北道路における生活交通との混在による渋滞の回避	・臨海部からの移動において、主要渋滞箇所を通過しなくなるため、南北道路の 渋滞緩和が期待できる 。 《主要渋滞箇所数 ^{*2} :20箇所》	・臨海部からの移動において、主要渋滞箇所を通過しなくなり、南北道路の渋滞緩和が期待できるが、明石西IC付近の 渋滞緩和については加古川ルートに比べて劣る 。 《主要渋滞箇所数 ^{*2} :20箇所》	・臨海部からの移動において、主要渋滞箇所を通過しなくなるため、南北道路の 渋滞緩和が期待できる 。 《主要渋滞箇所数 ^{*2} :20箇所》	・臨海部からの移動において主要渋滞箇所の通過がなくなり、南北道路の 渋滞緩和が期待できるが、明石西IC付近の渋滞緩和については加古川ルートに比べて劣る 。 《主要渋滞箇所数 ^{*2} :20箇所》
観光周遊の促進	産業交通の排除による国道2号BPの観光交通の速達性、定時性の向上	・神戸～姫路間の移動時間・距離が短縮され、姫路城等の観光地への 速達性、定時性の向上が期待できる 。	・神戸～姫路間の移動時間・距離が短縮され、姫路城等の観光地への 速達性、定時性の向上が期待できる 。	・神戸～姫路間の移動時間・距離が短縮され、姫路城等の観光地への 速達性、定時性の向上が期待できるが、内陸ルートに比べて劣る 。	・神戸～姫路間の移動時間・距離が短縮され、姫路城等の観光地への 速達性、定時性の向上が期待できるが、内陸ルートに比べて劣る 。
	交通事故の削減	・国道2号BPの渋滞緩和による 追突事故の削減が期待できる 。	・国道2号BPの渋滞緩和による 追突事故の削減が期待できる 。	・国道2号BPから新しいルートへの交通転換が限定的であり、 交通事故の削減効果は内陸ルートに比べて劣る 。	・国道2号BPから新しいルートへの交通転換が限定的であり、 交通事故の削減効果は内陸ルートに比べて劣る 。
災害に強いまちづくり	災害時に機能するネットワークの確保	・別線整備とすることで災害時のリダンダンシーが確保できる。 ・主に住居系地域に近い内陸部を通るため、災害時の避難・救助等に際しての 活用効果が高い 。	・別線整備とすることで災害時のリダンダンシーが確保できる。 ・主に住居系地域に近い内陸部を通るため、災害時の避難・救助等に際しての 活用効果が高い 。	・別線整備とすることで災害時のリダンダンシーが確保できる。 ・主に海上を通るため、災害時の避難・救助等に際しての 活用効果は内陸ルートに比べて劣る 。	・別線整備とすることで災害時のリダンダンシーが確保できる。 ・主に海上を通るため、災害時の避難・救助等に際しての 活用効果は内陸ルートに比べて劣る 。
	生活環境への影響	・一部集落・市街地を通過するため、大気、騒音等の 生活環境への影響が懸念される 。	・一部集落・市街地を通過するため、大気、騒音等の 生活環境への影響が懸念される 。	・一部集落・市街地を通過するため、大気、騒音等の生活環境への影響が懸念されるが、 内陸ルートに比べ影響する範囲は少ない 。	・一部集落・市街地を通過するため、大気、騒音等の生活環境への影響が懸念されるが、 他案に比べ影響する範囲は少ない 。
その他	自然環境への影響	・自然環境の考慮すべき箇所は、概ね回避するため、自然環境への影響は小さい。	・自然環境の考慮すべき箇所は、概ね回避するため、自然環境への影響は小さい。	・自然環境の考慮すべき箇所は、概ね回避するため、自然環境への影響は小さい。	・自然環境の考慮すべき箇所は、概ね回避するため、自然環境への影響は小さい。
	支障となる家屋及び工場等	・家屋:約240棟 工場等:約240棟 ・公共空間・市街化調整区域通過割合:約6割	・家屋:約240棟 工場等:約330棟 ・公共空間・市街化調整区域通過割合:約5割	・家屋:約170棟 工場等:約120棟 ・公共空間・市街化調整区域通過割合:約6割	・家屋:約60棟 工場等:約120棟 ・公共空間・市街化調整区域通過割合:約5割
コスト		約5,900億円	約6,200億円	約9,300億円	約9,500億円

※1)内陸ルート帯中央部から沿岸ルート帯中央部までの平均距離
 ※2)国道2号BPと臨海部をつなぐ南北道路の主要渋滞箇所

播磨臨海地域道路についてのアンケート

(ご回答は、左下の“回答用はがき”に記入してください)

<住民用>

問1 ご回答いただく方ご自身のことについてお聞きします。
世帯の代表の方がご回答ください。(世帯主である必要はありません)
 <該当するものを選んで、回答はがきの□にチェック✓をつけてください。
 「その他」を選択された方は()内に具体的な内容をお書きください。>

問1-1 性別	1.男性 2.女性
問1-2 年齢	1.10歳代 2.20歳代 3.30歳代 4.40歳代 5.50歳代 6.60歳代 7.70歳代以上
問1-3 郵便番号	お住まいの郵便番号をお書きください
問1-4 自動車の運転頻度	1.ほぼ毎日 2.週に3~4回 3.週に1~2回 4.月に2~3回 5.月に1回程度 6.それ以下 7.運転しない
問1-5 普段の運転の目的 (該当全てに✓)	1.通勤・通学 2.通院 3.家事・買い物 4.仕事・業務 5.観光・レジャー 6.運転しない 7.その他()
問1-6 国道2号バイパスの利用頻度	1.ほぼ毎日 2.週に3~4回 3.週に1~2回 4.月に2~3回 5.月に1回程度 6.それ以下 7.利用しない

回答はがき(返信用)

郵便はがき

料金受取人私郵便

〇〇〇〇支店 承認

1234

670-0947

兵庫県姫路市北条1丁目250番地

国土交通省 近畿地方整備局
 姫路河川国道事務所 調査課 行

差出有効期間 令和〇年〇月〇日まで (切手不要)

|||||

アンケートのお問い合わせ先

■調査実施主体
 国土交通省 近畿地方整備局
 姫路河川国道事務所 調査課
 〒670-0947
 兵庫県姫路市北条1丁目250番地
 TEL: 079-282-8504

(受付期間 令和〇年〇月〇日(〇) ~ 令和〇年〇月〇日(〇))

■調査協力自治体

兵庫県 県土整備部 土木課
 高速道路推進室 計画推進班

神戸市 建設局 湾岸・広域幹線道路本部
 推進課 広域幹線係

姫路市 都市局交通計画室 播磨臨海地域道路推進室

明石市 都市局道路安全室 道路整備課

加古川市 都市計画部 都市計画課

高砂市 まちづくり部まちづくり推進室 都市政策課

稲美町 地域整備部 都市計画課

播磨町 都市計画グループ

問1 ご回答いただく方ご自身のことについてお聞きします。
 <該当するものにチェック✓をつけてください。「その他」を選択された方は()内に具体的な内容をお書きください。>

問1-1 性別	<input type="checkbox"/> 1.男性 <input type="checkbox"/> 2.女性
問1-2 年齢	<input type="checkbox"/> 1.10歳代 <input type="checkbox"/> 2.20歳代 <input type="checkbox"/> 3.30歳代 <input type="checkbox"/> 4.40歳代 <input type="checkbox"/> 5.50歳代 <input type="checkbox"/> 6.60歳代 <input type="checkbox"/> 7.70歳代以上
問1-3 郵便番号	〒 □□□□-□□□□ ※お住まいの郵便番号を記入してください
問1-4 自動車の運転頻度	<input type="checkbox"/> 1.ほぼ毎日 <input type="checkbox"/> 2.週に3~4回 <input type="checkbox"/> 3.週に1~2回 <input type="checkbox"/> 4.月に2~3回 <input type="checkbox"/> 5.月に1回程度 <input type="checkbox"/> 6.それ以下 <input type="checkbox"/> 7.運転しない
問1-5 運転目的 (該当全てに✓)	<input type="checkbox"/> 1.通勤・通学 <input type="checkbox"/> 2.通院 <input type="checkbox"/> 3.家事・買い物 <input type="checkbox"/> 4.仕事・業務 <input type="checkbox"/> 5.観光・レジャー <input type="checkbox"/> 6.運転しない <input type="checkbox"/> 7.その他()
問1-6 国道2BP利用頻度	<input type="checkbox"/> 1.ほぼ毎日 <input type="checkbox"/> 2.週に3~4回 <input type="checkbox"/> 3.週に1~2回 <input type="checkbox"/> 4.月に2~3回 <input type="checkbox"/> 5.月に1回程度 <input type="checkbox"/> 6.それ以下 <input type="checkbox"/> 7.利用しない

ご回答いただく方自身のことについて

該当するものを1つ選んで、□にチェック✓をつけてください。(問1-4のみ該当するものすべてを選んでください。)

皆さまのご意見をお待ちしております。

播磨臨海地域道路についてのアンケート

(ご回答は、左下の“回答用はがき”に記入してください)

問2 お示したルート帯案についてお聞きします。

問2-1 地域・交通の課題を解消するために、今回お示したルート帯案は効果的だと思いますか？
該当するものを1つ選んで、回答はがきの1～5のうち1つに○をつけてください。

1. 効果的だと思う
2. やや効果的だと思う
3. どちらともいえない
4. あまり効果的だと思わない
5. 効果的だと思わない

問2-2 今回お示したルート帯案が効果的、あるいは効果的でないと思う理由があれば、はがきの回答欄にご回答ください。

問3 重視すべき項目についてお聞きします。

地域にとって望ましいルート帯案を検討する際に、どのような項目を重視すべきだと思いますか？

以下の各項目①～⑧についてあてはまる番号1つに○をつけてください。(5段階評価)

- ① 阪神方面への連絡時間短縮と南北道路における渋滞の回避により、製造業の活性化、投資促進につながる道路
- ② 主要観光地へのアクセス道路の渋滞緩和と定時性の向上により観光周遊の促進につながる道路
- ③ 大型車が国道2号BPや周辺道路から減少することで交通事故の削減につながる道路
- ④ 自然災害時(台風、豪雨、地震や津波等)に代替路として機能することで災害に強いまちづくりにつながる道路
- ⑤ 生活環境(大気・騒音等)への影響が小さい道路
- ⑥ 自然環境(生態系等)への影響が小さい道路
- ⑦ 道路整備の際に支障となる家屋・工場建屋数が少ない道路
- ⑧ 事業費が少ない道路

問4 配慮すべき事項についてお聞きします。

ルート帯案を検討する際に配慮すべき事項があれば、回答はがきの回答欄にお答えください。

問5 その他

その他、播磨臨海地域道路について、ご意見やご要望があれば、回答はがきの回答欄にお答えください。

設問は以上です。
ご協力ありがとうございました。

回答方法

回答は、左の回答はがきに記入し、記入後切り取り線に沿って切り取って、切手はらずに郵便ポストに投函してください。

締め切り

令和〇年〇月〇日(〇)までに
投函をお願いします。

問2 地域・交通の課題を解消するために、お示したルート帯案は効果的だと思いますか？

問2-1 ルート帯案について(1～5のうち1つに○をつけてください。)

効果的 だと思う	やや効果的 だと思う	どちらとも いえない	あまり効果的 だと思わない	効果的だと 思わない
1	2	3	4	5

問2-2 効果的、あるいは効果的でないと思う理由があればお答えください

問3 地域にとって望ましいルート帯案を検討する際に、どのような項目を重視すべきだと思いますか？

以下の各項目①～⑧についてあてはまる番号1つに○をつけてください。(5段階評価)

項目	特に 重視 すべき	やや 重視 すべき	どちら とも いえない	あまり重 視すべき でない	重視する 必要は ない
① 阪神方面への時間短縮と南北道路における渋滞の回避により製造業の活性化、投資促進につながる道路	5	4	3	2	1
② 主要観光地へのアクセス道路の渋滞緩和と定時性の向上により観光周遊の促進につながる道路	5	4	3	2	1
③ 大型車が国道2号BPや周辺道路から減少することで交通事故の削減につながる道路	5	4	3	2	1
④ 自然災害時(台風、豪雨、地震や津波等)に代替路として機能することで災害に強いまちづくりにつながる道路	5	4	3	2	1
⑤ 生活環境(大気・騒音等)への影響が小さい道路	5	4	3	2	1
⑥ 自然環境(生態系等)への影響が小さい道路	5	4	3	2	1
⑦ 道路整備の際に支障となる家屋・工場建屋数が少ない道路	5	4	3	2	1
⑧ 事業費が少ない道路	5	4	3	2	1

問4 ルート帯案を検討する際に配慮すべき事項があれば、下記の回答欄にお答えください。

問5 その他、播磨臨海地域道路について、ご意見やご要望がありましたら、下記の回答欄にお答えください。

播磨臨海地域道路についてのアンケート

(ご回答は、左下の“回答用はがき”に記入してください)

<事業者用>

問1 貴事業所のことについてお聞きします。

<該当するものを選んで、回答はがきの□にチェック✓をつけてください。
「その他」を選択された方は()内に具体的な内容をお書きください。>

問1-1 従業員数	1.1~4人 4.20~29人 7.100~199人	2.5~9人 5.30~49人 8.200~299人	3.10~19人 6.50~99人 9.300人以上
問1-2 業種	1.農業 2.林業 3.水産業 4.製造業 5.建設業 6.電気・ガス・水道業 7.情報通信業 8.金融業 9.運輸業 10.小売業 11.サービス業 12.その他()		
問1-3 郵便番号	所在地の郵便番号をお書きください		
問1-4 国道2号バイパスの利用目的(該当全てに✓)	1.営業 2.運送・運搬 3.送迎 4.旅客 5.運行しない 6.その他()		
問1-5 国道2号バイパスの利用頻度	1.ほぼ毎日 2.週に3~4回 3.週に1~2回 4.月に2~3回 5.月に1回程度 6.それ以下 7.利用しない		

回答はがき(返信用)



郵便はがき

6 7 0 0 9 4 7

兵庫県姫路市北条1丁目250番地

国土交通省 近畿地方整備局
姫路河川国道事務所 調査課 行

差出有効期間
令和〇年〇月
〇日まで
(切手不要)



問1 貴事業所のことについてお聞きします。
<該当するものにチェック✓をつけてください。「その他」を選択された方は()内に具体的な内容をお書きください>

問1-1 従業員数	<input type="checkbox"/> 1.1~4人 <input type="checkbox"/> 2.5~9人 <input type="checkbox"/> 3.10~19人 <input type="checkbox"/> 4.20~29人 <input type="checkbox"/> 5.30~49人 <input type="checkbox"/> 6.50~99人 <input type="checkbox"/> 7.100~199人 <input type="checkbox"/> 8.200~299人 <input type="checkbox"/> 9.300人以上
問1-2 業種	<input type="checkbox"/> 1.農業 <input type="checkbox"/> 2.林業 <input type="checkbox"/> 3.水産業 <input type="checkbox"/> 4.製造業 <input type="checkbox"/> 5.建設業 <input type="checkbox"/> 6.電気・ガス・水道業 <input type="checkbox"/> 7.情報通信業 <input type="checkbox"/> 8.金融業 <input type="checkbox"/> 9.小売業 <input type="checkbox"/> 10.運輸業 <input type="checkbox"/> 11.サービス業 <input type="checkbox"/> 12.その他()
問1-3 郵便番号	〒 □□□□-□□□□ ※事業所の郵便番号を記入してください
問1-4 国道2BP利用目的(該当全てに✓)	<input type="checkbox"/> 1.営業 <input type="checkbox"/> 2.運搬・運送 <input type="checkbox"/> 3.送迎 <input type="checkbox"/> 4.旅客 <input type="checkbox"/> 5.運行しない <input type="checkbox"/> 6.その他()
問1-5 国道2BP利用頻度	<input type="checkbox"/> 1.ほぼ毎日 <input type="checkbox"/> 2.週に3~4回 <input type="checkbox"/> 3.週に1~2回 <input type="checkbox"/> 4.月に2~3回 <input type="checkbox"/> 5.月に1回程度 <input type="checkbox"/> 6.それ以下 <input type="checkbox"/> 7.利用しない

アンケートのお問い合わせ先

■調査実施主体

国土交通省 近畿地方整備局
姫路河川国道事務所 調査課
〒670-0947

兵庫県姫路市北条1丁目250番地
TEL: 079-282-8504

(受付期間 令和〇年〇月〇日(〇)
~令和〇年〇月〇日(〇))

■調査協力自治体

兵庫県 県土整備部 土木課
高速道路推進室 計画推進班
神戸市 建設局 湾岸・広域幹線道路本部
推進課 広域幹線係

姫路市 都市局交通計画室 播磨臨海地域道路推進室
明石市 都市局道路安全室 道路整備課
加古川市 都市計画部 都市計画課
高砂市 まちづくり部まちづくり推進室 都市政策課
稲美町 地域整備部 都市計画課
播磨町 都市計画グループ

ご回答いただく方自身のことについて

該当するものを1つ選んで、□にチェック✓をつけてください。(問1-4のみ該当するものすべてを選んでください。)

皆さまのご意見をお待ちしております。

播磨臨海地域道路についてのアンケート

(ご回答は、左下の“回答用はがき”に記入してください)

問2 お示したルート帯案についてお聞きします。

問2-1 地域・交通の課題を解消するために、今回お示したルート帯案は効果的だと思いますか？
該当するものを1つ選んで、回答はがきの1～5のうち1つに○をつけてください。

1. 効果的だと思う
2. やや効果的だと思う
3. どちらともいえない
4. あまり効果的だと思わない
5. 効果的だと思わない

問2-2 今回お示したルート帯案が効果的、あるいは効果的でないと思う理由があれば、はがきの回答欄にご回答ください。

問3 重視すべき項目についてお聞きします。

地域にとって望ましいルート帯案を検討する際に、どのような項目を重視すべきだと思いますか？

以下の各項目①～⑧についてあてはまる番号1つに○をつけてください。(5段階評価)

- ① 阪神方面への連絡時間短縮と南北道路における渋滞の回避により、製造業の活性化、投資促進につながる道路
- ② 主要観光地へのアクセス道路の渋滞緩和と定時性の向上により観光周遊の促進につながる道路
- ③ 大型車が国道2号BPや周辺道路から減少することで交通事故の削減につながる道路
- ④ 自然災害時(台風、豪雨、地震や津波等)に代替路として機能することで災害に強いまちづくりにつながる道路
- ⑤ 生活環境(大気・騒音等)への影響が小さい道路
- ⑥ 自然環境(生態系等)への影響が小さい道路
- ⑦ 道路整備の際に支障となる家屋・工場建屋数が少ない道路
- ⑧ 事業費が少ない道路

問4 配慮すべき事項についてお聞きします。

ルート帯案を検討する際に配慮すべき事項があれば、回答はがきの回答欄にお答えください。

問5 その他

その他、播磨臨海地域道路について、ご意見やご要望があれば、回答はがきの回答欄にお答えください。

設問は以上です。
ご協力ありがとうございました。

回答方法

回答は、左の回答はがきに記入し、記入後切り取り線に沿って切り取って、切手はらずに郵便ポストに投函してください。

締め切り

令和〇年〇月〇日(〇)までに
投函をお願いします。

問2 地域・交通の課題を解消するために、お示したルート帯案は効果的だと思いますか？

問2-1 ルート帯案について(1～5のうち1つに○をつけてください。)

効果的 だと思う	やや効果的 だと思う	どちらとも いえない	あまり効果的 だと思わない	効果的だと 思わない
1	2	3	4	5

問2-2 効果的、あるいは効果的でないと思う理由があればお答えください

問3 地域にとって望ましいルート帯案を検討する際に、どのような項目を重視すべきだと思いますか？

以下の各項目①～⑧についてあてはまる番号1つに○をつけてください。(5段階評価)

項目	特に重視 すべき	やや重視 すべき	どちらとも いえない	あまり重視 すべき でない	重視する 必要は ない
① 阪神方面への時間短縮と南北道路における渋滞の回避により製造業の活性化、投資促進につながる道路	5	4	3	2	1
② 主要観光地へのアクセス道路の渋滞緩和と定時性の向上により観光周遊の促進につながる道路	5	4	3	2	1
③ 大型車が国道2号BPや周辺道路から減少することで交通事故の削減につながる道路	5	4	3	2	1
④ 自然災害時(台風、豪雨、地震や津波等)に代替路として機能することで災害に強いまちづくりにつながる道路	5	4	3	2	1
⑤ 生活環境(大気・騒音等)への影響が小さい道路	5	4	3	2	1
⑥ 自然環境(生態系等)への影響が小さい道路	5	4	3	2	1
⑦ 道路整備の際に支障となる家屋・工場建屋数が少ない道路	5	4	3	2	1
⑧ 事業費が少ない道路	5	4	3	2	1

問4 ルート帯案を検討する際に配慮すべき事項があれば、下記の回答欄にお答えください。

問5 その他、播磨臨海地域道路について、ご意見やご要望がありましたら、下記の回答欄にお答えください。